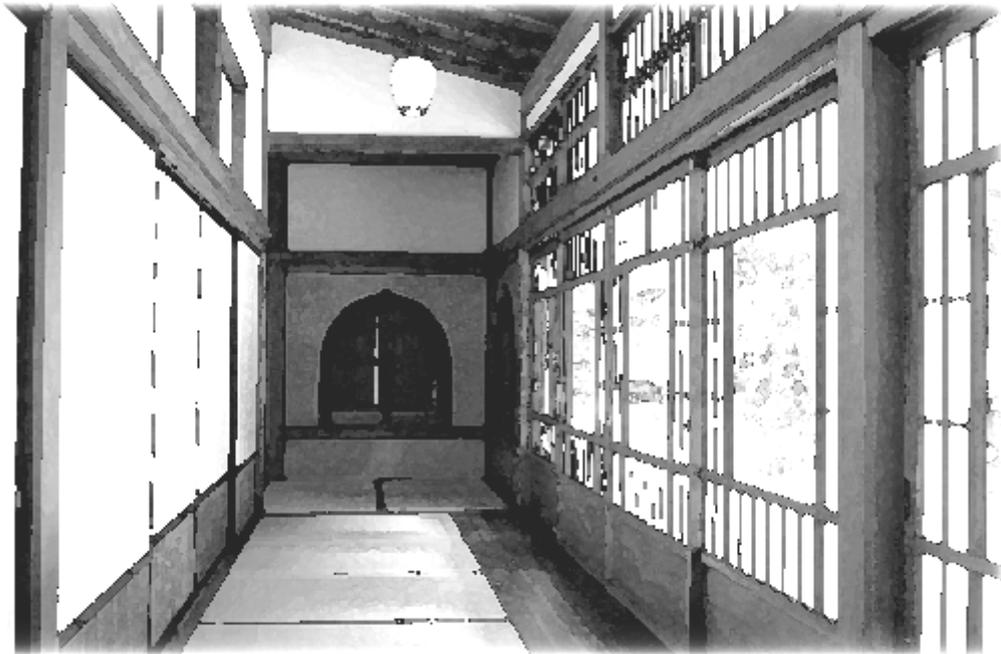


# 概要版

東京都指定有形文化財

旧前田侯爵家駒場本邸和館等 保存修復工事

## 基本構想



平成 23 年 3 月

目 黒 区

旧前田侯爵家駒場本邸和館等 保存修復工事 基本構想(案)

目 次

|       |               |    |
|-------|---------------|----|
| 第 1 章 | 基本構想策定に至る経緯   | 1  |
| 第 2 章 | 基本構想の策定       |    |
| 第 1   | 建造物の保存修復工事    | 2  |
| 1.    | 修復計画          | 2  |
| 2.    | 構造補強工事        | 10 |
| 3.    | 復原整備計画        | 13 |
| 第 2   | 庭園の保存修復工事     | 15 |
| 1.    | 復元整備計画        | 15 |
| 2.    | 危険・支障木の整備     | 17 |
| 3.    | 排水対策の検討       | 18 |
| 第 3   | 公開・活用の基本方針    | 20 |
| 1.    | バリアフリー対応の検討   | 20 |
| 2.    | サイン計画の検討      | 22 |
| 第 4   | 防火・防犯対策       | 25 |
| 第 5   | 基本構想図         | 26 |
| 第 6   | 工事費概算         | 28 |
| 1.    | 建造物概算額算出の基本方針 | 28 |
| 2.    | 庭園等概算額算出の基本方針 | 28 |
| 3.    | 財源確保について      | 28 |

## 第1章 基本構想策定に至る経緯

平成20年3月に和館、敷地等が東京都指定有形文化財に追加指定されたことを受け、平成21年3月には「旧前田侯爵家駒場本邸洋館保存管理計画（東京都教育庁）」、平成22年3月には「旧前田侯爵家駒場本邸和館及び庭園等保存管理計画（目黒区）」（以下、「保存管理計画」という。）が策定されました。

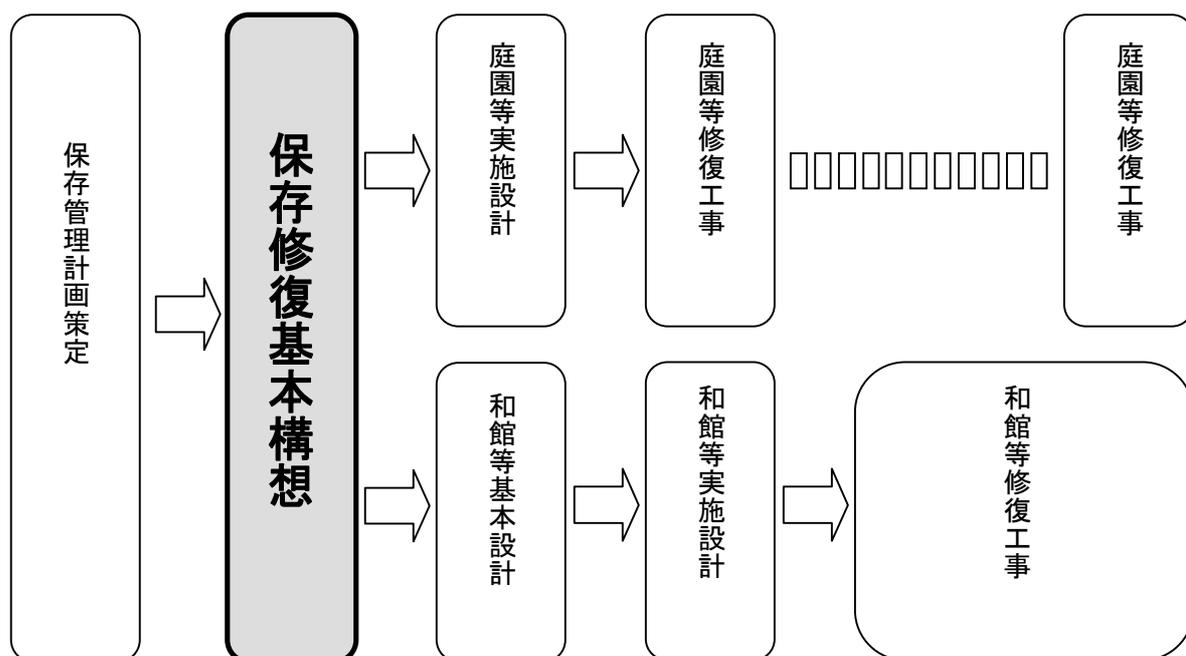
基本構想は、保存管理計画を受けて、東京都の管理する洋館を除き、以下の策定方針により、旧前田侯爵家駒場本邸和館及び庭園等保存修復整備事業検討会を設置し、策定しました。

### <基本構想の策定方針と位置づけ>

#### 策定方針

- ① 保存修復工事および設計を行う上で必要な事項を整理・検討します。
- ② 保存管理計画に基づき課題の優先順位を付け、より具体的な保存修復・整備案を検討します。
- ③ 公開・活用に向けた整備案を検討します。

#### 基本構想の位置づけ



## 第2章 基本構想の策定

### 第1 建造物の保存修復工事

#### 基本方針

旧前田侯爵家居住期の復元的整備を目指します。

保存年代の設定：旧前田侯爵家駒場本邸が最も隆盛を誇った時期（昭和5～17年）

「基本方針」に基づき、建造物ごとの保存・保全すべき部分等の修復及び復原整備すべき事項、建造物の耐震等の防災対策の整備内容を明らかにし、早急に整備すべき事項は、短期整備事業として実施していきます。

#### 整備の考え方

##### 1. 修復計画

和館ほか各建造物は、建設から80年余りが経過し、各所に経年による破損が生じています。根本的な解体修理は必要ありませんが、良好に維持していくために破損箇所の修復を行います。主な破損内容は以下の通りです。

#### 和館

- 外部** 屋根 銅板に波打ち、腐蝕による変色が見られます。  
外壁 板に割れや板の変形により釘の抜けが見られます。  
茶室柱の根元に腐朽が見られます。  
雨戸の板割れが見られます。
- 内部** 雨漏りや天井裏に侵入した動物の糞尿などによる汚損が見られます。  
茶室、水屋の壁に剥落が見られます。  
畳や建具、塗装は経年による劣化が見られます。  
彩色板戸の剥落が進行しています。  
建具のガラスや照明器具のガラスシェードは割れている箇所があります。

#### 渡廊下

- 照明器具のガラスシェードが欠失しています。  
西側のコンクリート壁が一部剥離しています。

#### 茶室待合

柱、大引に蟻害による腐朽が見られます。  
腰壁の杉皮が劣化しています。

#### 和館門・塀

屋根 瓦の割れている箇所があります。  
控柱の足元が腐朽しています。  
腰壁の竹張が捲れている箇所があります。

#### 門衛所

- 外部** 窓中央の付柱が切断されています。  
パラペットに落葉が堆積しています。
- 内部** 雨漏りによる天井の汚損が見られます。  
畳床の畳表に劣化が見られます。

#### 正門・塀

敷石が沈下しています。  
門柱の張石が表面風化しています。  
門扉の塗装が劣化し、錆びています。

#### 庭門・塀

門扉、格子金物の塗装が劣化し、錆びています。  
笠石が欠失している箇所があります。  
壁が一部切断されています。(パーゴラが取り付けいていたと思われる部分)  
格子金物が欠失しています。

#### 外周塀

大谷石の表面に風化が見られます。  
石の破片が落下している箇所があります。  
笠石に直接忍返しの鉄製支柱がさしてあるため、笠石が割れています。  
忍返しが錆びて弛んでいます。

これらの破損は短期計画で保存・修復工事を検討します。







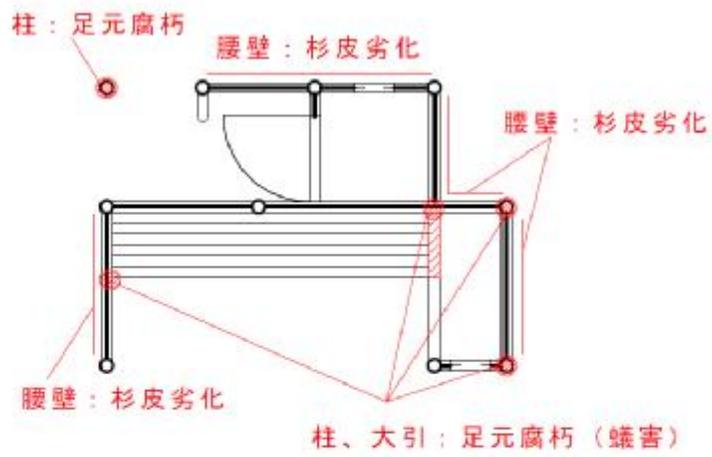


図4 破損状況 茶室待合平面図

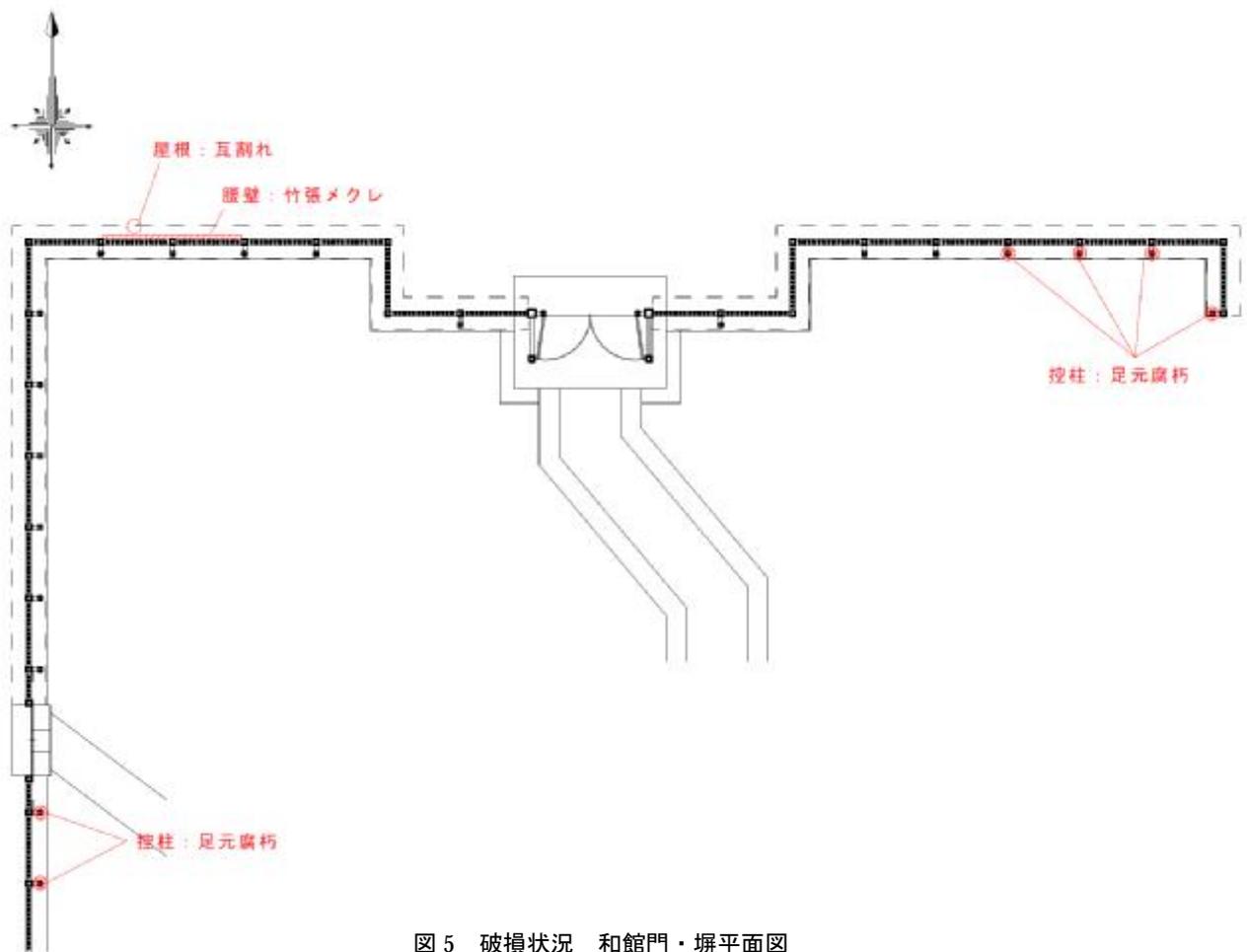


図5 破損状況 和館門・塀平面図

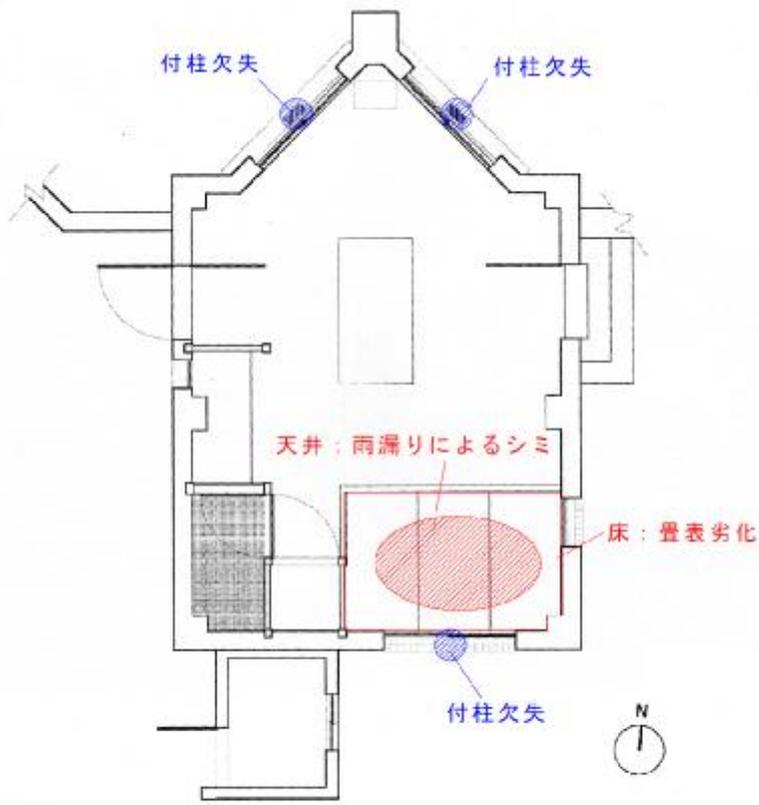


図6 破損状況 門衛所平面図

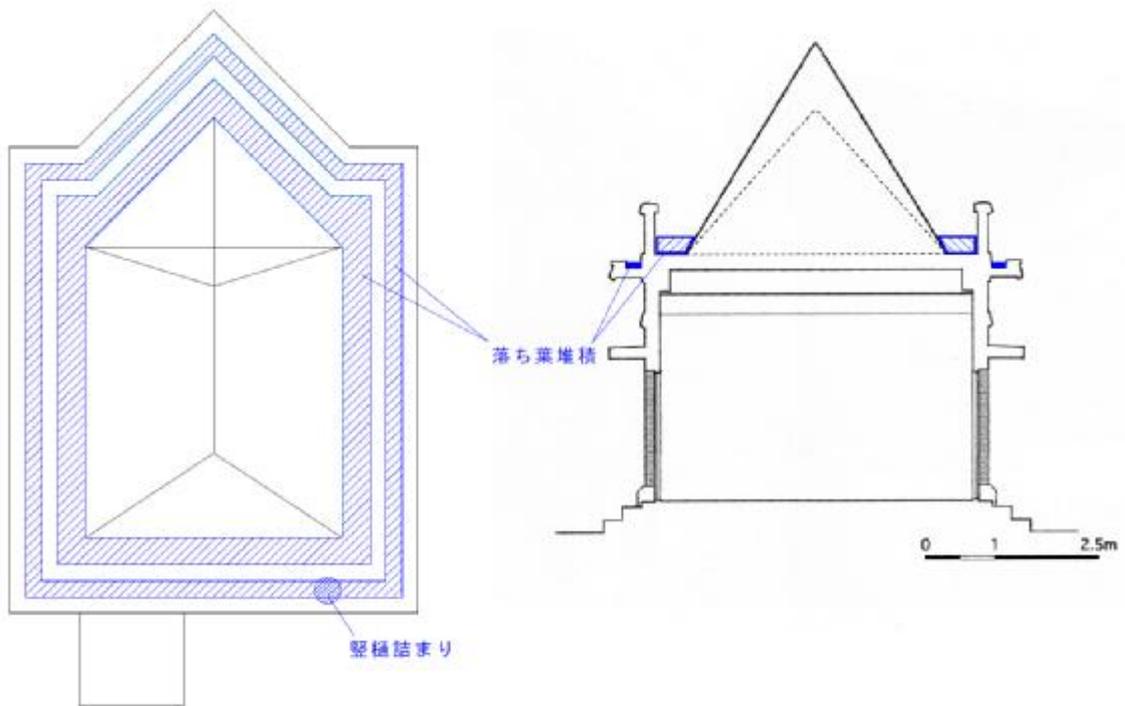


図7 破損状況 門衛所屋根伏図

図8 破損状況 門衛所断面図

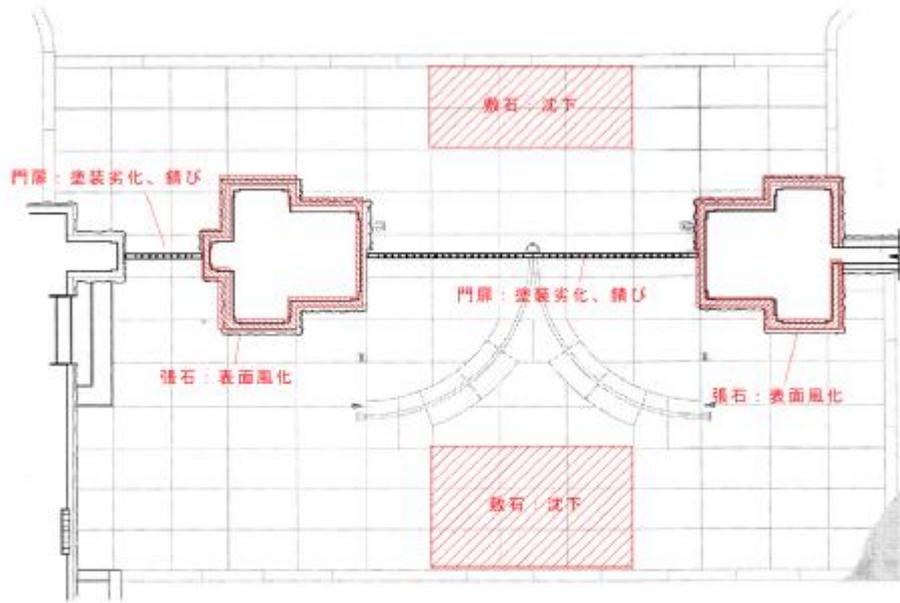


图9 破损状况 正門平面図

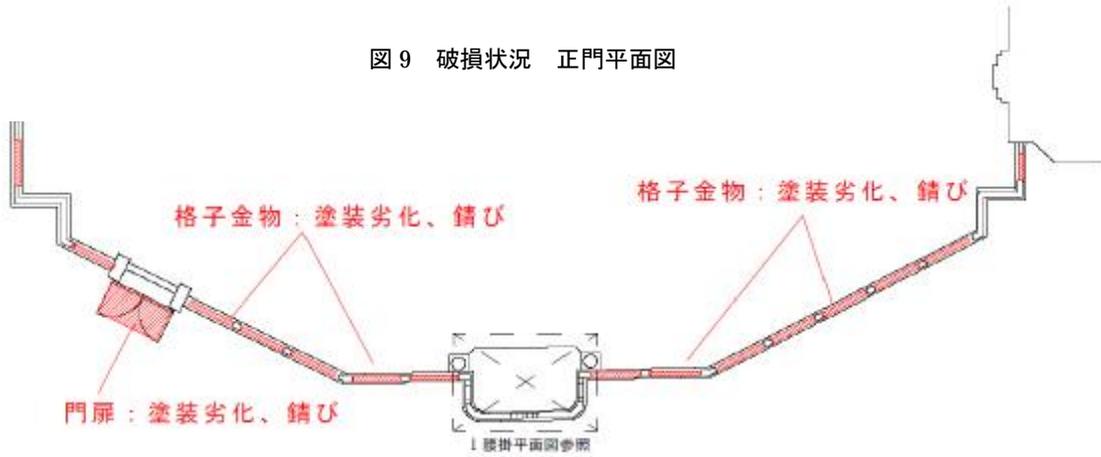


图10 破损状况 庭門・塀平面図

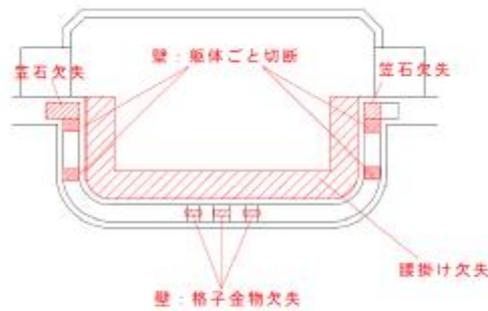


图11 破损状况 庭門・塀（腰掛部分）平面図

## 2. 構造補強工事

### (1) 和館の構造補強工事

平成 21 年度に和館の構造診断を行った結果、耐震性能が不足することが分かりました。そのため、保存管理計画策定委員会で補強案を検討し、「鋼管柱補強」案を選定しました。

#### 補強方法

- ・不足する耐力を補うために、計 12 本の鋼管柱を 1 階の目立たない箇所に設置します。これにより建具等を耐力壁に改変することなく補強できます。また床の間の背面壁を構造用合板で補強し、耐力のバランスを確保します。
- ・2 階は既存木摺漆喰壁を合板補強壁に置換して補強します。仕上げは現状と同じ漆喰塗とします。また、2 階天井内の水平構面を補強すると共に、1 階座敷小屋内に鉄製方杖を設置し、接続する柱を鉄製枠で補強します。
- ・今後、既存木摺漆喰壁の性能が現在より詳細に判明した場合や、工事等に伴う新たな知見があった場合は、部分的な方針変更もあります。

#### <鋼管柱補強>

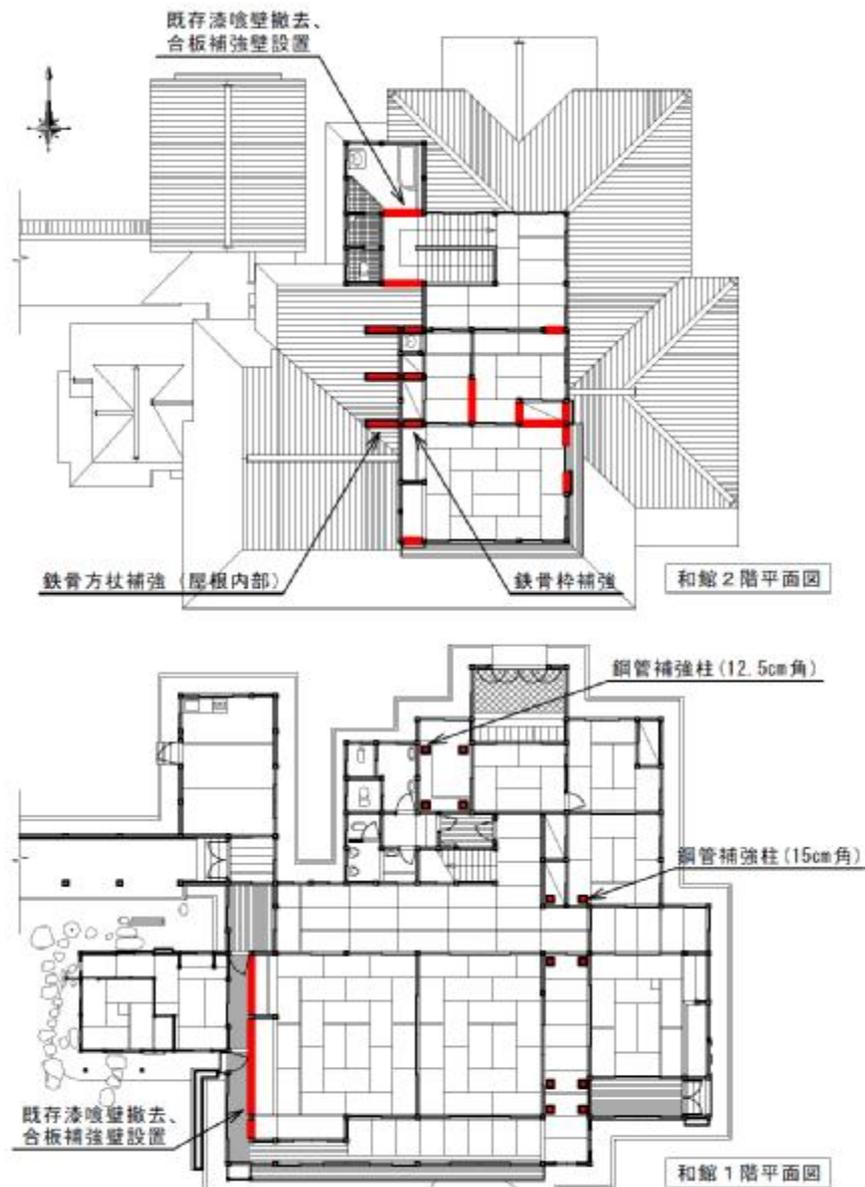


図 12 和館構造補強案平面図

<鋼管柱補強イメージ>

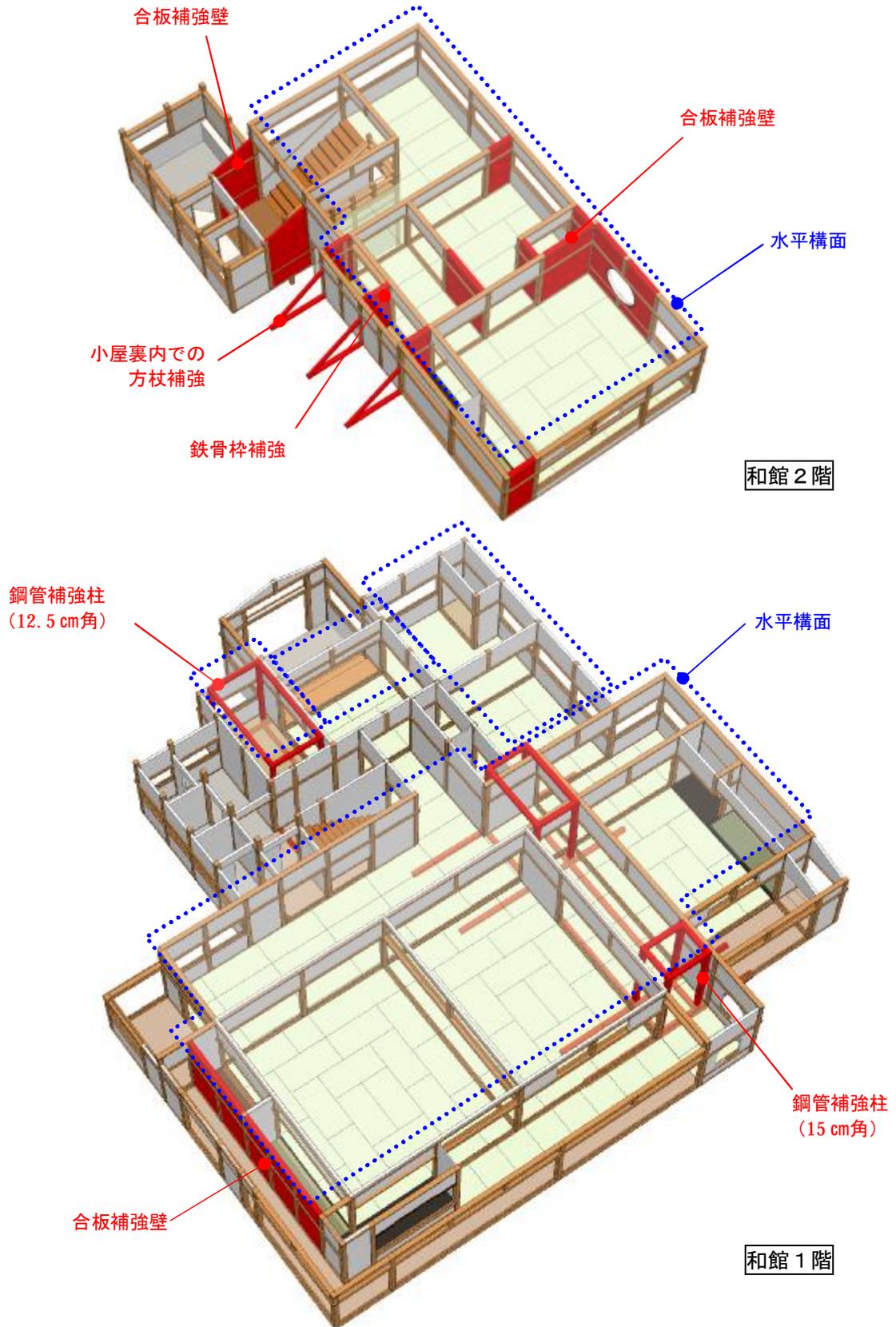


図 13 和館構造補強案イメージ

## (2) その他の建造物に関する構造補強工事の考え方

### 渡廊下

非常に強大な台風接近時には、進路予測により使用を制限することで使用者の危険を回避します。

### 門衛所

構造診断結果は基準値を満たしていますが、今後、常時使用する場合には、コンクリートの劣化、中性化、強度等を調査し、安全を確認します。

### 和館門

非常に強大な台風接近時には、進路予測により使用を制限することで使用者の危険を回避します。また浮き上がり力を減じるために、扉を開放し受圧面積を減じることや、方杖を仮設的に設置する等が考えられます。

一方、地震は発生を予測できないため、診断結果からは浮き上がり力に抵抗するための常設補強が求められます。具体的には、背面柱下に **200kg** 程度のコンクリート等のウエイトを設置し、柱と金物で緊結する方法が考えられます。

### 和館塀

塀の自重が軽いため、地震や風により塀自身も浮いてしまう結果になり、計算上は転倒防止用のアンカーボルトとカウンターウエイトが必要です。

風荷重に対しては台風の進路予測に注意し、暴風時の方杖等の仮設的な設置などの対処が可能です。

地震時の転倒に対しては、和館門と同様の柱脚部補強が考えられます。ただし、通常は通行路との間に水路や植え込みといった緩衝帯があるため、緊急に常設補強する必要性は低いと考えられます。

### 3. 復原整備計画

後年の改造や欠失などにより当初の仕様が失われている箇所は、保存管理の基本方針に従い復原します。

#### 和 館

##### <短期整備>

- ・御客間、御次之間、小座敷に橋本雅邦筆襖絵等を模式再現整備します。
- ・御客間、御次之間、小座敷、御居間の金砂子貼壁を復原します。
- ・2階御居間の照明を当初のペンダントに交換します。
- ・欠失している茶室の掛け雨戸、笹戸を復原します。

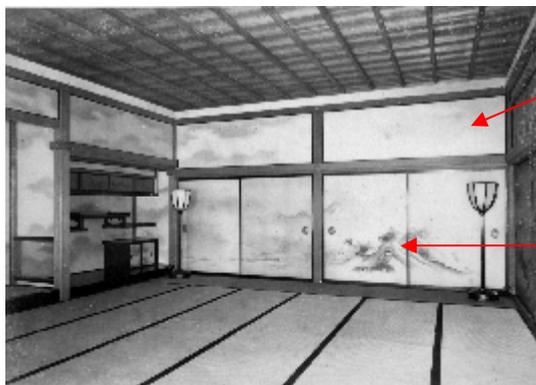
##### <中長期整備>

- ・大廊下、小座敷、広縁、入側、御書斎の漆喰塗壁を色土壁に復原し（注）、腰張をします。

注 修復時の調査等により当初壁が判明した場合です。古写真により漆喰壁でないことは分かっています。

- ・御客間、御次之間の照明をボンボリに復原します。

その他の当初の仕様が失われている部位については、今後の公開・活用方針に合わせて復原を検討します。



1階 御客間  
(前田家所蔵古写真)

金砂子貼壁

橋本雅邦筆襖絵



当初のボンボリ  
(前田家所蔵古写真を拡大)



2階 御居間  
(前田家所蔵古写真)



当初のペンダント  
洋館地下に保管



現在のシャンデリア

## 渡廊下

### <中長期整備>

- ・照明器具を当初の姿に復原します。

## 門衛所

### <短期整備>

- ・窓中央付柱を復原します。

### <中長期整備>

- ・門衛所内部の当初の仕様が失われている部位については、今後の公開・活用方針に合せて復原を検討します。

## 正門

### <中長期整備>

- ・門扉、照明器具、鉄格子を当初の姿に復原します。

## 洋館庭門

### <短期整備>

- ・鉄格子上の有刺鉄線を撤去します。
- ・木製腰掛を復原します。

### <中長期整備>

- ・当初格子、木製パーゴラを復原します。

## 外周塀

### <短期整備>

- ・笠石に直接設置している忍返しを撤去します。

## 第2 庭園の保存修復工事

### 1. 復元整備計画

#### 基本方針

旧前田邸の本質的価値を継承し、広く理解してもらうための整備を行います。

「基本方針」に基づき、庭園を各区域に分け、視点場や添景物及び樹木等の植物など、その特性などを踏まえた保存、景観の再現、公開・活用の推進等に向けた整備内容を明らかにし、早急に整備すべき事項は、短期整備事業として実施していきます。

#### 整備の考え方

##### <短期整備>

#### 全体

- ・敷地内及び和館内に案内板を整備します。
- ・ゴミ箱、灰皿、ベンチ等の一部を整備・更新します。
- ・転倒している石灯籠を復旧します。

#### ア. 導入路

- ・古写真を参考にして、正門から洋館西側付近の樹木伐採・剪定を行います。
- ・砂利舗装材などによる園路整備を行い、和館へのアプローチを改善します。

#### イ. 洋館庭園

- ・古写真を参考にして、洋館南庭付近の樹木伐採・剪定を行います。
- ・洋館南側の芝庭を一部復旧します。
- ・既存の浸透式排水施設を改修します。

#### ウ. 和館庭園

- ・古写真を参考にして、和館庭園付近の樹木伐採・剪定を行います。
- ・和館付近の芝庭を一部復旧します。
- ・霊社付近の園路を復元し、回遊性のある動線を整備します。

##### <中長期整備>

#### 全体

- ・短期整備項目を引き続き整備します。
- ・バックヤードの移設を検討します。

- ・園内の外灯の一部を当初の姿に復原します。

#### **ア. 導入路**

- ・短期整備項目を引き続き整備します。
- ・旧事務所付近の樹木伐採・剪定を行います。

#### **イ. 洋館庭園**

- ・短期整備項目を引き続き整備します。
- ・洋館南側の築山を一部復元します。
- ・園路の砂利敷きを一部復旧します。

#### **ウ. 和館庭園**

- ・短期整備項目を引き続き整備します。
- ・煎茶室と霊社付近の敷石、平面の遺構保護と一部復元を行います。

## 2. 危険・支障木の整備

### 基本方針

前田侯爵家居住期の復原的整備を目指します。

### 整備の考え方

基本構想における庭園等の保存修復方針及び復原整備方針などを踏まえ、次の考え方により整備を行います。

- 「ア. 導入路」「イ. 洋館庭園」「ウ. 和館庭園」の各区域別整備とともに、前田家居住期の景観再現で重要となる場所である視点場別に景観再現整備を行います。
- 「前田家居住期」「GHQ接收期」「駒場公園期」における庭園等の構成要素を踏まえた整備を行います。
- 樹木管理は、次の基本的な考え方を踏まえた整備を行います。
  - ・ 文化財庭園の本質的価値を高める公園樹木の管理をします。
  - ・ 建造物への支障、影響の想定される樹木の取り扱い方の整理をします。
  - ・ 文化財庭園としての景観の再現や、森の形成、更新等も踏まえた管理をします。

### 整備の方向について

#### 【各区域別、視点場別の整備】

＜景観を再現するための整備＞

- ・・・【前田家居住期の景観再現で重要となる視点場の景観再現など】
- ・・・【文化財庭園の保存管理や景観再現などを踏まえた樹木管理、目黒の森の機能確保など】

#### 【支障樹木の整備】

文化財建造物への影響、公園利用上の安全性、景観の再現、目黒の森などの機能の観点から評価し、支障樹木の特定を行うとともに、支障の解消と機能の保護のどちらを優先するかを整理し、支障木に対する対応を判断します。

実施にあたっては、景観の激変を避ける工夫や、他の樹木の成長を考慮し、建造物の保存管理や庭園の景観などとの整合を図り支障木管理を実施します。

### 3. 排水対策の検討

#### 基本方針

降雨後、水が溜まりやすい場所に浸透式の排水設備を整備します。

#### 整備の考え方

(1) 敷地南側の浸透枘及び浸透管を改修・新設します。

洋館南側庭園の園路下には、昭和 61 年度に浸透枘と浸透管が設置されています。設置後 25 年余りが経過し、周辺地盤と枘天端高さとの不具合や、土砂の目詰まりが見られ、降雨後に広い範囲で水溜りが生じています。ただし長期間にわたり水が溜まることはなく、地盤も水捌けの良いローム層で地下水位も-5.5mと低いため、敷地の浸透性そのものには問題は無いと考えられます。

公園利用に支障をきたさないために、これら機能が低下した排水施設を改修します。その場合、園路を土から砂利敷きにする整備と合わせて行います。

また洋館南側庭園と外周園路には水が溜まりやすい場所があり、既設の場所以外にも浸透枘と浸透管を新設することが有効と考えます。



写真1 周辺地盤が削られて枘天端が高くなっている



写真2 園路周辺は土が踏み固められており、雨水が浸透しにくい



写真3 遊具、公園便所周辺



写真4 外周園路

(2) 外周塀内側の排水状況を検討し、必要な場所に排水施設を整備します。

南側の外周塀は擁壁上に建っており、現在は孕みもなく構造的には健全と考えられます。しかし擁壁には水抜き孔がないため、外周塀内側の雨水の浸透性能や土圧を検討し、必要な場合は排水施設を整備します。

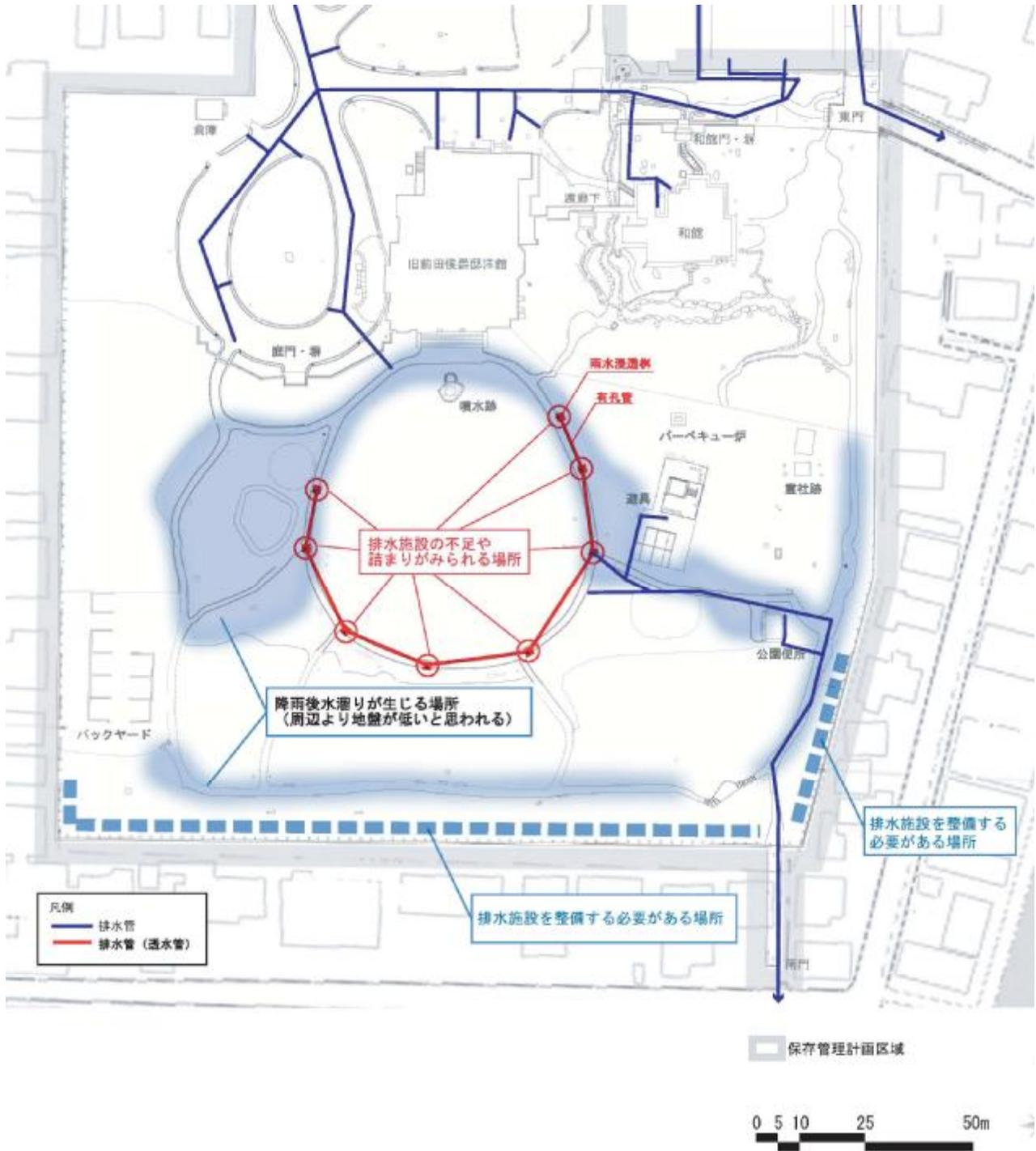


図 14 排水施設配置図

### 第3 公開・活用の基本方針

#### 基本方針

旧前田侯爵家駒場本邸の価値を伝えるための公開・活用を行います。

建造物と庭園の一体的な公開・活用を行います。

地域の文化交流の拠点としての公開・活用を行います。

「基本方針」に基づき、「保存管理計画」で課題とされた、建造物の公開・活用のための改修、案内表示や説明板等の整備、利用者が安全、安心して利用できる施設の改善に向けた整備内容を明らかにし、早急に整備すべき事項は、短期整備事業として実施していきます。

#### 1. バリアフリー対応の検討

##### 整備の考え方

旧前田邸がより多くの人々に親しまれるように、文化財としての価値を損なわない範囲で最善の対応を目指します。

園路対策：車椅子利用者も通行可能な範囲を拡大し、敷地内の回遊性を高めます。

和館内部の対策：便所周辺の段差部分に手摺を設置します。また、和館内部にはだれでもトイレを設置するスペースがないので、和式便器を洋式便器に更新するなどの対応をします。

公園便所：現在の公園便所を更新し、自動車庫跡にだれでもトイレを整備します。

##### (1) 園路のバリアフリー対策

現在、旧前田邸の園路は正門から洋館庭門までの一部と、南門入口部分についてはコンクリートで舗装され、車椅子利用可能園路となっています。

しかし、現状の舗装範囲のみでは、車椅子利用者は敷地内を回遊することは不可能です。そのため、バリアフリー対応の砂利舗装材を整備して敷地内を回遊できる動線を確保します。

## (2) 和館のバリアフリー対応

和館建物内においては、バリアフリー化のための段差解消等の改修を行うと、文化財を傷めてしまう恐れがあります。さらに、和館の場合、便所は階段踊場直下にあり、床をフラットにすると天井高が不足するため、改修は不可能です。

そのため、便所内へ手摺りを設置する、和式便器を洋式便器にする、などの文化財保護の枠内で可能な対応とします。

また、来園者への案内として、建物内はバリアフリー化していないことをホームページや公園案内板などであらかじめ周知する必要があります。

## (3) 公園便所の更新・バリアフリー化

現在の公園便所は昭和 50 年に設置されたコンクリートブロック造のもので、老朽化が進んでいます。22 年前の昭和 63 年度の目黒区公園管理マニュアルでも、更新の必要な便所 3 位にランク付けされているため、更新は急務です。

公園の利活用の観点から、洋館庭園内に便所は必要と考えられるため、更新の際は現在とほぼ同位置に新設するのが望ましいです。しかし、前田家居住期には存在しなかった建物であるため、外観は十分検討し、庭園内で違和感のないものを設置します。

## (4) だれでもトイレ・管理スペースの整備案

### <整備場所：ア-3 導入路：事務所等周辺>

和館内に設置が困難であるだれでもトイレを和館から近い自動車庫跡地に整備します。

外観は前田家居住期の自動車庫を古図面、古写真を元に復元します。

また、現在敷地南西隅にあるバックヤードは車両が園路をまたいで資材を運搬しているため、だれでもトイレ整備位置の北側にバックヤードを移設します。

## 2. サイン計画の検討

### 整備の考え方

案内板や説明板は必要最小限の数にして、庭園の雰囲気損なわないようにします。

#### <敷地全体>

全体の案内板を各入口毎に設置し、文化財に指定されている建造物、失われた建造物にそれぞれ建造物の説明板を設置します。

制札板は園内にいくつも設置するのではなく、各門に設置する案内板にまとめて園内の注意事項などを記入します。また、デザインは統一し、前田家居住期に撮影された古写真を載せて当時と比較出来るようなものにします。

(敷地全体のサイン配置案 p 23 参照)

#### <和館内部>

和館は、玄関に全体の案内板を設置します。

各居室には外部説明板と同様古写真と見比べられるようなものを設置します。建造物の内部に設置するサインは取り外しや移動可能な仮設的なものとし、文化財を傷つけないように配慮します。

(和館内部のサイン配置案 p24 参照)

#### (1) 旧前田邸に現在設置されている案内板、公園施設等

現在、敷地内に設置されている案内板、公園施設等を調査しました。以下に現状配置図を示します。

更新が必要なもの、新たに整備する必要があるもの、内容が重複しているため統合させるものなど整理を行いました。それぞれの写真の下に基本構想の内容が示してあります。赤い枠は短期で整備するもの、青い枠は中長期で整備するもの、灰色の枠は現状のままとするものとししました。



<和館内部のサイン配置案>



図 16 和館内部サイン配置図 (案)

## 第4 防火・防犯対策

### 基本方針

国指定重要文化財の防火・防犯対策に倣い各種設備を設置します。

「基本方針」に基づき、「保存管理計画」で課題とされた、和館付近の消防水利の確保など、防火上の課題や監視カメラ、赤外線センサーなどの機械警備などによる防犯上の課題の改善に向けた整備内容について、中長期に整備する事項を含め整備事業として明らかにしました。

### 整備の考え方

#### <防火対策>

- (1) 和館の自動火災報知設備は全て更新し、より効果的な機器の導入を検討します。
- (2) 和館は木造であり樹木への延焼も懸念されることから、和館周囲に適切な消火設備を設置します。



図2-65 全国の国宝・重要文化財における消火栓等の設置状況（平成21年度）

「重要文化財建造物等に対応した防火対策のあり方に関する検討会報告書（中間報告）」より

#### <防犯対策>

- (1) 和館への放火防止を最優先と考え、和館周辺に防犯センサー等を設置します。

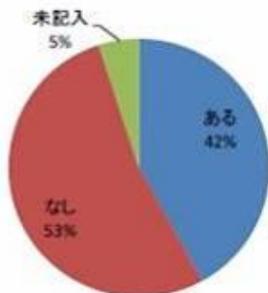
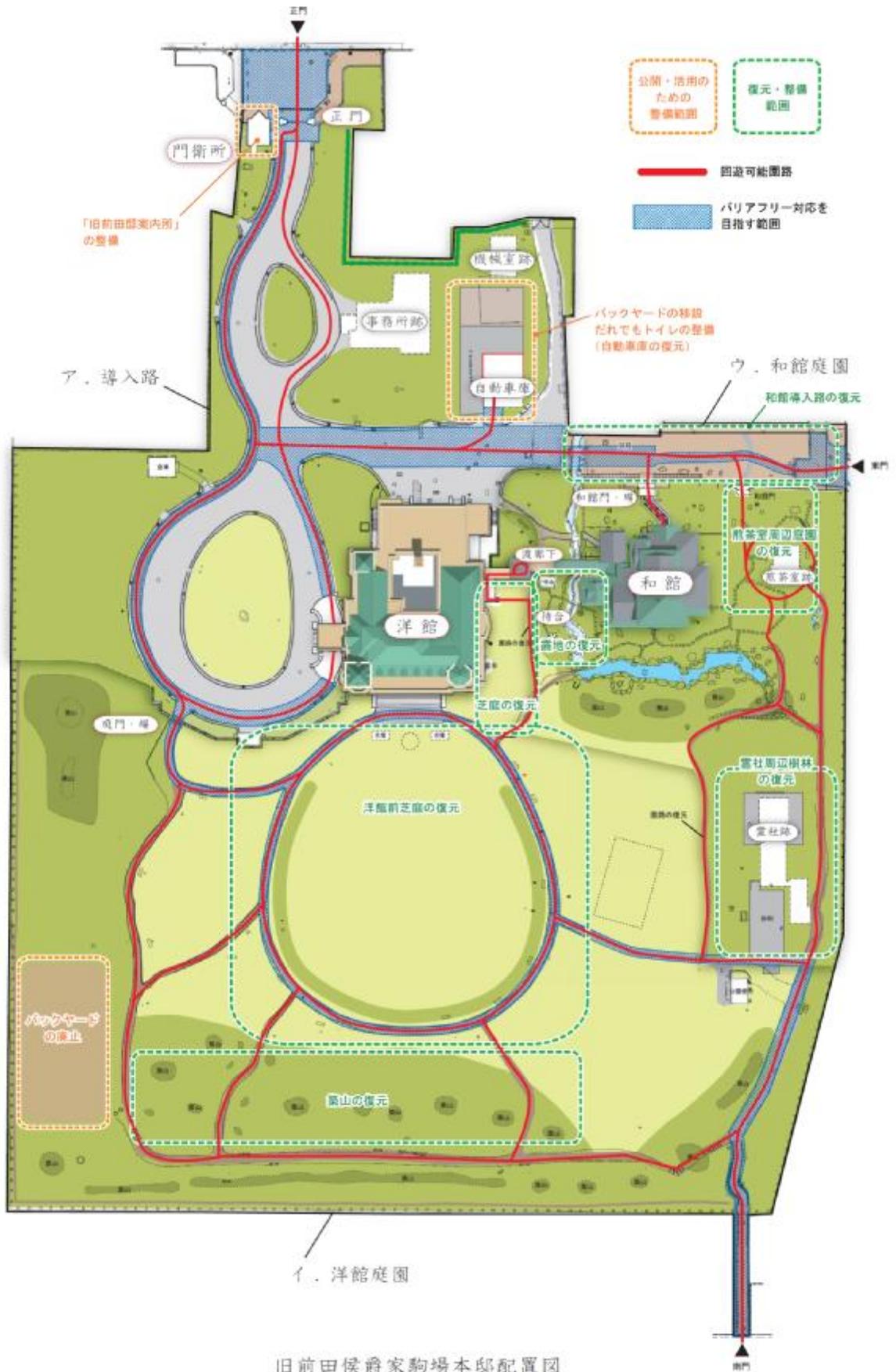


図2-66 全国の国宝・重要文化財における防犯設備の設置状況（平成21年度）

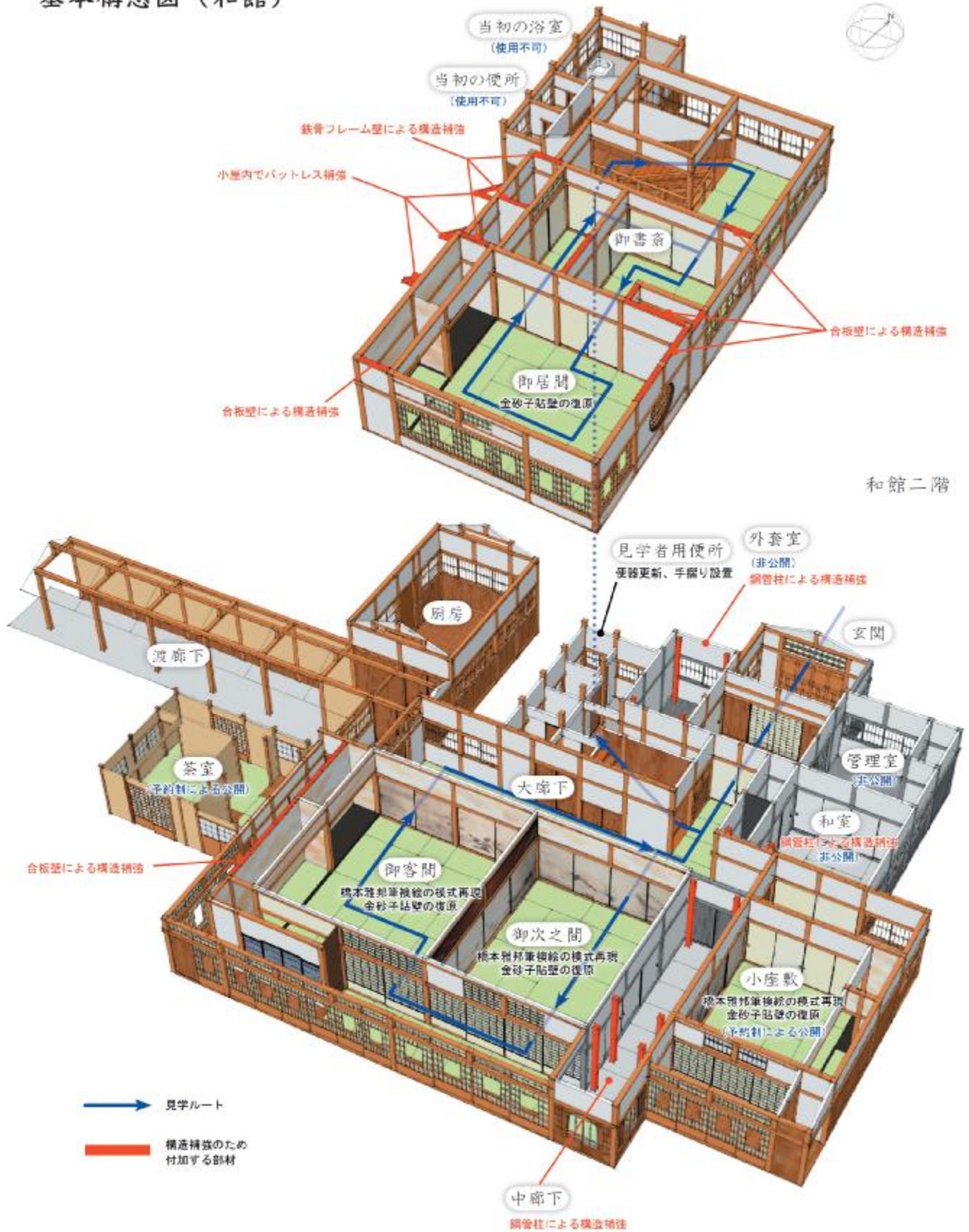
「重要文化財建造物等に対応した防火対策のあり方に関する検討会報告書（中間報告）」より

# 基本構想図（敷地全体）



旧前田侯爵家駒場本邸配置図

# 基本構想図（和館）



和館一階



## 第6 工事費概算

### 1. 建造物概算額算出の基本方針

- ・単価等は、国指定重要文化財の標準的な修理手法による工事を参考にしています。
- ・優先度が高い項目を短期に実施する項目として行い、それ以外の修復項目は中長期に実施する予定としています（表1、p29参照）。

#### 和 館

- ・耐震補強工事を最優先に行います。
- ・現在破損している箇所は全て修復します。
- ・彩色板戸の剥落止を行います。
- ・屋根葺替など予防的な更新については、他の修復項目とのバランスを考慮して基本設計時に再検討します。
- ・障子の張り替え、畳の表替えを行います。
- ・1階便所の便器等を更新し、自動火災報知設備及び電気設備を更新・改修します。また防犯カメラなどの防犯設備を設置し、屋外消火栓などの消火設備を設置します。
- ・橋本雅邦画の襖絵（前田育徳会蔵）を模式再現等により整備し、金雲砂子貼り壁を復原します。

#### 渡廊下、茶室待合、和館門・塀、門衛所、正門・塀、洋館庭門・塀、外周塀

- ・現在破損している箇所は全て修復します。
- ・根拠の明らかなものは復原整備します。
- ・大谷石製の外周塀は破損箇所を修復し、劣化防止のため含浸強化剤を塗布します。

#### 失われた建造物

- ・茶室南側の庭中門を古写真により復原します。
- ・煎茶室への動線復元のため、煎茶室北門、周囲垣根等を整備します。
- ・車庫外観復元による多目的トイレの整備を検討します。

### 2. 庭園等概算額算出の基本方針

- ・単価等は公共工事単価を参考にしています。
- ・樹木伐採・剪定等については、実施設計時の調査により大幅な予算配分の変更もあります。
- ・優先度が高い項目を短期に実施する項目として行い、それ以外の修復項目は中長期に実施する予定としています（表2、p31参照）。

### 3. 財源確保について

東京都文化財保護条例に基づく東京都指定文化財保存事業計画（複数年度継続事業）として、平成26年度までの所要経費を東京都文化財保存事業費補助金交付要綱（所要経費の1/2補助）により歳入確保します。

表1 建造物に関する修復・復原項目

| 名 称              | 摘 要  |
|------------------|--|
| 1. 和館 (耐震補強)     | 鋼管柱補強、水平構面補強、合板壁補強、小屋裏補強、鋼管柱搬入箇所解体・復旧、天井及び床解体・復旧、内部足場等一式 |
| 2. 和館 (修復)       | 屋根1/8程度葺替(100㎡)  |
|                  | その他修復(茶室柱根継ほか)   |
|                  | 彩色板戸洗浄、剥落止め(18面)   |
|                  | 建具補修、襖・障子張替え、建付調整(280枚)                                  |
|                  | 畳表替え(162枚)   |
|                  | 茶室壁塗替  |
|                  | 便所改修(和式→洋式、手摺設置等)  |
|                  | 電気設備、自火報一部取外し・復旧   |
|                  | 仮設物、防蟻処理、残材処分ほか  |
|                  | 防犯設備(防犯カメラ、録画機器、赤外線センサー)                                 |
|                  | 消火設備(屋外消火栓、放水銃、貯水槽・ポンプ室)                                 |
| 3. 和館 (復元)       | 彩色襖上貼複製(28面+障子腰9面)                                       |
|                  | 金雲砂子紙貼壁復元  |
|                  | 茶室建具復元   |
|                  | 二階御居間照明器具(洋館地下保管)  |
|                  | 内部壁(※当初壁の色が判明した場合)                                       |
|                  | 和館 計   |
| 4. 渡廊下 (修復)      | 照明器具、漆喰壁   |
| 5. 渡廊下 (復元)      | 兔御門扉模造品、照明器具   |
| 6. 茶室待合 (修復)     | 柱等蟻害箇所取替、腰壁杉皮取替  |
| 7. 和館門・塀 (修復)    | 門耐震補強、塀控柱足元修復ほか  |
| 8. 門衛所 (修復)      | スラブ補修・防水、天井板取替ほか   |
| 9. 門衛所 (復元)      | 窓付柱、天井漆喰塗、平面形式   |
|                  | 門衛所 計  |
| 10. 正門・塀 (修復)    | 敷石一部据え直し、門扉塗装、張り石含浸強化                                    |
| 11. 正門・塀 (復元)    | 扉・レール、照明器具(2灯、配線共)                                       |
|                  | 正門・塀 計   |
| 12. 洋館庭門・塀 (修復)  | 門扉塗装、忍び返し撤去、鉄格子塗装、笠石補修                                   |
| 13. 洋館庭門・塀 (復元)  | 腰掛   |
|                  | パーゴラ   |
|                  | 洋館庭門・塀 計   |
| 14. 外周塀 (修復)     | 大谷石含浸強化、笠石修復、侵入防止柵                                       |
| 15. 失われた建造物 (復元) | 茶室南側の庭中門   |
|                  | 【整備】煎茶室北門、周囲垣根等  |
|                  | 【整備】多目的トイレ(車庫外観復元、管理用駐車場隣接)                              |
|                  | 失われた建造物復元 計  |
| 16. 設計監理料        | 解体箇所調査、変更設計、施工監理、修理工事報告書作成                               |
| 合 計              |  |

| 優先度 | 短期実施項目 | 中長期実施項目 | 備 考                |
|-----|--------|---------|--------------------|
| 最優先 | ○      |         |                    |
| 高   | ○      |         | 南側銅板葺破損箇所、下地補修含む   |
| 高   | ○      |         |                    |
| 高   | ○      |         |                    |
| 高   | ○      |         | 全数×80%施工           |
| 高   | ○      |         | 全数×80%施工           |
| 高   | ○      |         | 全数×80%施工           |
| 高   | ○      |         |                    |
| 高   | ○      |         |                    |
| 高   | ○      |         |                    |
| 高   | ○      |         | 和館周辺のみ             |
| 中   |        | ○       | 和館周辺のみ             |
| 高   | ○      |         |                    |
| 高   | ○      |         | 110㎡×150,000円/㎡    |
| 高   | ○      |         | 古写真にある板戸と雨戸        |
| 高   | ○      |         | 修理、クリーニングして再用      |
| 中   |        | ○       | 現状の漆喰壁は破損は少ない      |
| 高   | ○      |         | 現状の照明器具は中古         |
| 中   |        | ○       | 購入・譲渡の可能性もあるかもしれない |
| 高   | ○      |         |                    |
| 高   | ○      |         | 門控柱下にRCウエイト        |
| 高   | ○      |         |                    |
| 高   | ○      |         |                    |
| 高   | ○      |         |                    |
| 中   |        | ○       |                    |
| 高   | ○      |         |                    |
| 高   | ○      |         |                    |
| 中   |        | ○       |                    |
| 高   | ○      | ○       | 計1,000㎡のうち300㎡を先行  |
| 高   | ○      |         | 古写真による             |
| 高   | ○      |         |                    |
| 中   |        | ○       |                    |
| 高   | ○      | ○       |                    |
|     | 213百万円 | 174百万円  |                    |

表2 庭園に関する修復・復原項目

| 名 称        | 摘 要                      | 優先度 |
|------------|--------------------------|-----|
| 1. 全体の整備   |                          |     |
| 添景物修復      | 石灯籠、手水鉢、景石等              | 高   |
| サイン整備      | 正門周辺、園内主要20ヶ所、和館内部       | 高   |
| 公園施設整備     | ゴミ箱・灰皿・ベンチ等              | 高   |
|            | 遊具改修等                    | 中   |
|            | 便所改修等                    | 高   |
| バックヤード整備   | 「ア-3」へ移設を想定              | 中   |
| 外灯復元       | 煎茶室周辺(和風)、正門南側(洋風)、1カ所ずつ | 中   |
|            | 全体の整備 計                  |     |
| 2. 各エリアの整備 |                          |     |
| ア-1 入口     | 【視点場1】整備                 | 高   |
|            | 樹木伐採・剪定等                 | 高   |
|            | 園路整備                     | 高   |
| ア-2 洋館前庭   | 【視点場2】整備                 | 高   |
|            | 樹木伐採・剪定等                 | 高   |
|            | マテバシイ剪定・植え替え等            | 高   |
|            | 園路整備                     | 高   |
| ア-3 事務所等周辺 | 樹木伐採・剪定等                 | 中   |
|            | 民地境界生け垣(m)               | 中   |
| イ-1 洋館南庭   | 【視点場3、4】整備               | 高   |
|            | 樹木伐採・剪定等                 | 高   |
|            | 芝庭整備                     | 高   |
|            | 排水改修                     | 高   |
|            | 築山復元                     | 中   |
|            | 園路整備                     | 中   |
| イ-2 外周樹林帯  | 樹木伐採・剪定等                 | 高   |
|            | 排水改修(外周堀際通路)             | 高   |
|            | 築山復元                     | 中   |
|            | 園路整備                     | 中   |
| イ-3 洋館内庭   | 【視点場5、6】整備               | 高   |
| ウ-1 和館前庭   | 樹木伐採・剪定等                 | 高   |
|            | 東門周囲垣根更新(m)              | 高   |
|            | 延べ段等復元、排水溝縁石修復           | 中   |
| ウ-2 和館南庭   | 【視点場8、9】整備               | 高   |
|            | 芝庭整備                     | 高   |
| ウ-3 煎茶室周辺  | 樹木伐採・剪定等                 | 高   |
|            | 芝庭整備                     | 高   |
|            | 園路整備                     | 高   |
|            | 敷石・平面等の復元                | 中   |
| ウ-4 霊社周辺   | 樹木伐採・剪定等                 | 中   |
|            | 園路整備                     | 高   |
|            | 敷石・平面等の復元、遺構保護           | 中   |
|            | 各エリアの整備 計                |     |
| 3. 設計監理料   |                          | 高   |
| 合 計        |                          |     |

| 面積                   | 短期実施項目 | 中長期実施項目 | 備考               |
|----------------------|--------|---------|------------------|
| —                    | ○      | ○       | 転倒防止など最小限度の修復    |
| —                    | ○      | ○       |                  |
| —                    | ○      | ○       |                  |
| —                    | —      | —       | ※公園等改良事業         |
| —                    | —      | —       | ※公園等改良事業         |
| —                    |        | ○       |                  |
| —                    |        | ○       |                  |
| —                    |        |         |                  |
| —                    | ○      |         | 2人×10日、処分費等      |
| 1,488 m <sup>2</sup> | ○      |         |                  |
| 436 m <sup>2</sup>   | ○      |         | 砂利想い、全面積の1/3     |
| —                    | ○      |         | 2人×10日、処分費等      |
| 2,143 m <sup>2</sup> | ○      |         | マテバシイ以外          |
| —                    | ○      |         |                  |
| 378 m <sup>2</sup>   | ○      |         | 砂利想い、全面積の1/3     |
| 1,747 m <sup>2</sup> |        | ○       |                  |
| 85 m <sup>2</sup>    |        | ○       |                  |
| —                    | ○      |         | 2人×10日、処分費等      |
| 4,639 m <sup>2</sup> | ○      | ○       | 1/5先行            |
| 8,914 m <sup>2</sup> | ○      | ○       | 1/5先行、フェンス撤去・新設  |
| —                    | ○      | ○       | 掘削、透水管等          |
| —                    |        | ○       |                  |
| 934 m <sup>2</sup>   |        | ○       | 中央園路は砂利に復元       |
| 5,462 m <sup>2</sup> | ○      | ○       | 1/5先行            |
| 200 m <sup>2</sup>   | ○      | ○       | 1/5先行、外周堺際を掘削、碎石 |
| —                    |        | ○       |                  |
| 655 m <sup>2</sup>   |        | ○       | 砂利敷き             |
| 386 m <sup>2</sup>   | ○      |         |                  |
| 605 m <sup>2</sup>   | ○      |         |                  |
| 45 m <sup>2</sup>    | ○      |         |                  |
| 363 m <sup>2</sup>   |        | ○       |                  |
| 1,511 m <sup>2</sup> | ○      | ○       |                  |
| 513 m <sup>2</sup>   | ○      |         |                  |
| 384 m <sup>2</sup>   | ○      |         |                  |
| 624 m <sup>2</sup>   | ○      |         |                  |
| 15 m <sup>2</sup>    | ○      |         | 霊社方向への園路復元       |
| 100 m <sup>2</sup>   |        | ○       |                  |
| 1,087 m <sup>2</sup> | ○      | ○       | 1/5先行            |
| 150 m <sup>2</sup>   | ○      |         | 霊社方向への園路復元       |
| 350 m <sup>2</sup>   |        | ○       |                  |
|                      |        |         |                  |
|                      | 116百万円 | 237百万円  |                  |